

「市民活動団体、地域コミュニティ組織への普及について」



「市民活動団体、地域コミュニティ組織への普及について」ですが、『市民まつり』等のイベントを利用してはいかがかと思いました。『市民まつり』等のイベントに自治基本条例の催事場枠（場所）を設け、各市民活動団体及び、地域コミュニティ組織に催し物の企画募集をします。例えば「私の自治会は盆踊りでの焼き鳥がおいしい」や、「私の市民活動団体は他には無いこの様な活動を行っている」等の市民の皆様へより多く知っていただきたいと思う事です。

募集が集まったら抽選か選考方法は検討が必要ですが、催し物の企画を決定します。選考の結果、当選した企画には催事場及び、資本金、後、市職員のお手伝いがあります。なぜ市職員のお手伝いがあるかと云うと市民活動団体及び、地域コミュニティ組織の方とひとつの事を共に行ったらより親睦が深まるのではと思ったからです。それは今後、まちづくりにより必要になるのではないのかと考えたからです。

次に催し物の企画への資本金は利益が出た場合は原則、返金しなければなりません。資本金を差し引いたお金は市民活動や地域コミュニティ組織に利用していただく事になります。しかしながら「資本金を返金したら行いたい行事や活動が出来ない。」と云う事もあると思うので、その際は先程まで活動を共にした市職員との交渉に入ります。交渉の末、見事、市職員を納得させた際には利益のほかに領収書と引き換えに資本金を持ち帰る事が出来ます。ただし資本金の額にもよりますが領収書の収入印紙代は市民活動団体、地域コミュニティ組織持ちです。

最後にこの催し物の企画募集を利用した市民活動団体及び、地域コミュニティ組織の方には感想を聴かせていただきます。後日この感想は「広報こしがや」等の様々な広報に掲載していただき自治基本条例の普及に活用出来ればと思いました。